

平成29年5月1日

全日本写真連盟東京都本部
委員長 熊田繁夫

東京都本部は今期、創立50周年の大きな節目を迎えました。この時に、突然の指名を受け委員長の重責を担うこととなり、大変な重圧と責任を感じております。

過去50年の長きにわたり築き上げられた歴史と組織を守りながら、日々変化していく写真の世界の中で、皆さんと一緒に、明日の全日本写真連盟の一翼を担いながら、東京都本部の新たな発展のために微力を尽くしたいと思います。

今期は先ず、「創立50周年記念事業」を成功させるために役員会、常任委員会、実行委員会の協力体制を中心にして皆さんとともに頑張っていきたいと思っております。先月行われた「新・明日を語る会」は多くの会員のご参集を頂き、写真を学ぼうとする意欲の強さ、積極的な意見発表から都本部への熱い思いも感じました。総会でも近年にない出席があり、その意欲の高さに背中を押され、決意を新たにしたところでもあります。

東京都本部には会員の減少はじめ課題や問題があります。写真の世界が大きく変化している今こそ、組織運営でも前例主義に陥らず、柔軟に方策を見出して行かなければと考えております。東京都本部の存立は「明るく楽しい」支部運営が基本にあると考えます。また他県の成功例を見るまでもなく、趣味の世界とはいえ、「写真力」の向上を目指すことは組織の発展に必要不可欠であります。今後は役員、常任委員が率先して研鑽していく考えであります。さらにこれまで以上に写真家の先生方、関東本部委員、支部指導講師の皆様のお力も頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

東京都本部が創立50周年を機に、V字回復に向かって前進を始めるよう、役員一同組織の改革・前進をはかって行きます。会員の皆さんのご協力を切にお願いいたします。